

教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪公立大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	サステナブルながん予防のシステム構築と実践ができる健診専門医養成コース(正規課程)						
対象職種・分野	医師						
修業年限(期間)	3(早期修了)～4年						
養成すべき人材像	一次予防・二次予防・三次予防を理解し実践できる人材育成を行う。具体的には、検診を含む予防医療の演習・実習に加え、早期がんの発見、告知、診断、治療、社会復帰に関わることでできる人材育成を行う。がん患者には2次癌の発生が多いことより、がん経験者に対する再発予防、身体的・精神的・社会的ケアや社会復帰後のさらなる予防医療の実践やがん予防に関わる新たなバイオマーカーの開発を担う。検診データや検診バイオバンクを用いてビッグデータに基づく効率的かつ個別化された新たながん予防医療を推進できる人材育成を行う。						
修了要件・履修方法	必修科目および選択科目で計30単位以上を履修し、博士論文審査および最終試験に合格すること。						
履修科目等	<必修科目> 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、発表表現演習(2単位)、研究指導(8単位)、研究公正B(1単位)、医学研究概論(1単位)、医学研究基本演習(1単位)、医学研究セミナー(1単位) <選択科目> CS演習(1単位)、SP演習(1単位)、腫瘍遺伝学外科実習(4単位)、がん医療学実習(6単位)、他専門科目						
がんに関する専門資格との連携	日本人間ドック学会認定医、人間ドック健診専門医(日本総合健診医学会・日本人間ドック学会)日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医、日本がん治療認定医機構認定医、肺がんCT検診認定医、日本乳癌学会専門医、検診マンモグラフィ読影認定医・乳房超音波読影認定医の暫定研修施設として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	糖尿病を含む生活習慣病から主な固形がんまで、がん予防に必要な幅広い知識を取得する。がんスクリーニングにおける各種マーカーの意義を理解する。多領域の専門医と連携し診断方法、標準治療・社会復帰まで集学的な治療・ケアを理解した健診専門医を養成する。また、社会復帰後のがんサバイバーに対するケア(再発予防、身体的・精神的・社会的ケア)を実践できる医師を養成する。腫瘍循環器学や腫瘍腎臓病学等のがん関連学際領域に対応できる能力や医療ビッグデータを扱いがん予防医療を推進できる能力を有する医師を養成する。						
指導体制	人間ドック健診専門医・指導医、がん薬物療法専門医、日本呼吸器学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓病学会専門医、日本乳癌学会専門医、日本産科婦人科学会専門医、日本糖尿病学会認定専門医、日本腎臓病学会認定専門医、日本外科学会専門医、日本内科学会認定総合内科専門医からなる多分野の専門医集団が協働して行う。						
修了者の進路キャリアパス	がん薬物療法専門医、がん治療認定医を取得する。また、人間ドック健診専門医や多分野のうち興味のある分野の専門医も取得する。市民医学講座等にて地域住民にがん予防を啓蒙しコロナ禍で低迷したがん検診普及等、あらゆる年齢の人々の健康寿命延伸のため福祉活動やがん予防医学領域で活躍する。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を5人と設定。						